

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 28 年 4 月 28 日 (2016.4.28)

【公開番号】特開 2014-236438 (P2014-236438A)
【公開日】平成 26 年 12 月 15 日 (2014.12.15)
【年通号数】公開・登録公報 2014-069
【出願番号】特願 2013-118158 (P2013-118158)
【国際特許分類】

H 0 1 Q 19/30 (2006.01)

H 0 1 Q 1/38 (2006.01)

【F I】

H 0 1 Q 19/30

H 0 1 Q 1/38

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 9 日 (2016.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

素子端または素子中間部で給電される給電素子と、
前記給電素子に対して間隔を設けて前記給電素子を軸として対称に配置され、前記給電素子の長さと同じ長さで形成された複数の無給電素子と、
を備え、
前記給電素子と前記無給電素子の配置方向と交差する前後方向に異なる利得が設定されることを特徴とするアンテナ装置。

【請求項 2】

前記給電素子が複数の前記無給電素子の間に配置されることを特徴とする請求項 1 記載のアンテナ装置。

【請求項 3】

一方の面に前記給電素子が配置され、前記一方の面の反対面に前記無給電素子が配置される誘電体基板を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のアンテナ装置。

【請求項 4】

前記給電素子および前記無給電素子が相互に作用することで、前記異なる利得が設定されることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のアンテナ装置。

【請求項 5】

素子端または素子中間部で給電される給電素子と、
前記給電素子に対して間隔を設けて前記給電素子を軸として対称に配置され、前記給電素子の長さと同じ長さで形成された複数の無給電素子と、
を備え、
前記給電素子と前記無給電素子の配置方向と交差する前後方向に異なる利得が設定されることを特徴とする無線通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

上記目的を達成するため、本開示の技術の一側面によれば、素子端または素子中間部で給電される給電素子と、給電素子に対して間隔を設けて給電素子を軸として対称に配置され、記給電素子の長さと同じ長さで形成された複数の無給電素子とが備えられる。これら給電素子および無給電素子の配置方向と交差する前後方向に異なる利得が設定される。